

情報モラルの効果的な指導実践方法について

大阪市立扇町総合高等学校 教諭 池田 明

ai.hs@ocec.jp

yomonoka.ocec.jp/hs/ogimachi/index/ohgi_index.html

キーワード：情報モラル，プロジェクト学習，主体的な情報活用能力，実習

1. はじめに

高等学校においては、教科としての情報科がスタートし、必修科目として設定されてから数年が経過した。また昨今では、小中学校でも情報教育に関するさまざまな取り組みが行われている。これは、社会の急速な情報化、ネットワーク化にともなって、学校教育に対するニーズも変化していることの表れであるともいえる。また、生徒を取り巻く日常の環境もインターネットや携帯電話といった情報ツール抜きには語れなくなってきている。

そんな中で、学校における情報モラルに関する指導の重要性も高くなってきている。学習指導要領における取り扱いも、より具体的に広範囲にわたるようになってきた。このような状況を踏まえた上で、高等学校の授業における情報モラルの指導について、その実践のサンプルを示しながら、より効果的な方法はどのようなものであるかを考察したい。

2. 大阪市立扇町総合高等学校の現況

大阪市立扇町総合高等学校では、大阪文化・環境科学・国際観光・マーケティングデザイン・会計ビジネス・情報ネットワークの六つの系列を展開して様々な授業を行っている。私が主として担当している情報ネットワーク系列では、主体的な情報活用能力の育成を目指して、さまざまなプロジェクト学習にも取り組んでいる。また、一年次に情報Aを必修科目として設定して、全員履修としている。この授業においても、基本的なコンピュータ操作スキルや情報に関する知識の習得のために、プロジェクト型の学習形態を導入している。

これらはいずれも、数時間単位以上のとりくみで、多くはグループ学習の形態をとっている。授業のプランニングの際に、目的と評価について明らかにし、生徒のモチベーションをいかに高めるかに工夫を凝らしているのが特徴といえるであろう。換言すれば、どのような「ネタ」で授業を展開するかが、重要であると考えられる。

3. 情報モラルの指導事例

本年度の「情報A」の授業では、プロジェクト学習の形式で情報モラルに関する指導を実施した。ここではネットいじめに関する指導事例を紹介したい。今回素材として活用したのは、イギリスで制作された“Let's fight it together”という動画クリップである。このショートムービーを核として八時間の単元で展開した。



写真1

*単元例 ネットいじめについて

第1-2時 「ネットいじめ」の実態を知る

Let's fight it together

参考URL：<http://www.childnet-int.org/>

第3-4時 「ネットいじめ」の特性について考える

- ・「ネットいじめ」の事例を紹介する（記事、本など）；新聞記事抜粋参照
- ・KJ法で新聞記事の分析をさせる

第5-6時 「ネットいじめ」の被害者にも加害者にもならない為の方法を考える

第7-8時 「ネットいじめ」防止啓発活動への取り組みと発表

- ・「ネットいじめ」防止リーフレットの製作・発表

以下に、授業で活用した資料の一部を抜粋する。

*動画視聴の際のワークシート質問項目

<p>①あなたは、なぜ Joe は自分の気持ちをビデオに録画したのだと思いますか。</p> <p>②「Let's fight it together」では、Kim が中心となって Joe をいじめています。あなたは、Joe がいじめられはじめた原因は何だったと思いますか。</p> <p>③Kim を中心としていじめがはじまりました。そして、後半のバスの中の場面では、クラスのほとんどの生徒が Joe をからかっていました。あなたは、なぜ、「いじめ」問題がここまで広がったのだと思いますか。</p> <p>④以下の写真は、先生が Joe に話しかけている場面です。先生は、Joe に何と話しかけ、Joe は何と答えたのでしょうか。先生と Joe の会話を書きましょう。また、先生に話しかけられたときの Joe の気持ちを書き入れましょう。</p> <p>先生「」</p> <p>Joe「」</p> <p>Joe の気持ち：</p> <p>⑤Joe は、メールを送ってきた相手に「あなたは誰?」「あなたは Kim なの?」と質問しています。あなたは、なぜ Joe はこのような質問をしたのだと思いますか。</p> <p>⑥あなたは、お母さんが Joe のビデオを見ながら、どんな気持ちでいたと思いますか。</p> <p>⑦あなたは、Kim やいじめっ子たちは、自分のしていることがこんなにも Joe を苦しめていると気づいていたと思いますか。あなたがそう思った理由と共に書き入れましょう。</p> <p>⑧あなたは、なぜ Joe のいじめ問題は解決することができたのだと思いますか。</p>
--

表 1

*利用した新聞記事等の例

<p>2007年7月3日、兵庫県のある私立高校で、3年生の男子生徒が校舎から飛び降り、自殺するという事件が起こった。午後1時50分ごろ、授業中に「トイレに行く」と教室を出てから約10分後に、校舎脇のコンクリートの地面で、男子生徒が頭から血を流しているのを発見された。男子生徒はすぐに病院に運ばれたが、やがて死亡が確認された。衝撃的だったのは、亡くなった男子生徒のズボンのポケットに、A4判3枚の遺書が入っていたことだ。原因は「いじめ」だった。</p> <p style="text-align: center;">(渋井哲也 著 『学校裏サイト-進化するネットいじめ-』晋遊舎 2008)</p> <p>飛び降り自殺した同高3年の男子生徒(当時18)が、同級生らから現金を要求されていた事件で、生徒が服を脱いだ写真や、足を無理やり開かせるなどの嫌がらせを受ける様子の動画がインターネットのホームページ(HP)＝閉鎖＝に掲載されていたことが20日、兵庫県警の調べなどでわかった。同級生らが「借金が返せないのなら、裸の写真でも使って金を稼げ」と命令していたという証言もある。県警少年捜査課は、同級生数人がHP作成に関与していた疑いがあるとみて、恐喝未遂容疑で逮捕した同級生の少年(17)らから事情を聴いている。</p> <p>調べなどでは、HPは自殺した生徒自身が作成したように装って作られていた。同級生の命令で生徒が教室で服を脱ぐ写真などが載っていたとされる。閲覧者が投稿できる掲示板もあり、「キモイ」といった書き込みがあった。自殺した生徒は遺書の中で「こんなもの(HP)は自分が作ったものではない。勝手に作られた」などと記し、落ち込んだ様子だったという。県警などに対し、事件とは関係ない複数の同級生らがHPに生徒の動画や写真が掲載されていたと証言。逮捕された少年を含む複数の同級生が「金を払えなければHPで稼げ」と命じて携帯電話で撮影していた、と話したという。</p> <p style="text-align: right;">(2007年09月20日付 朝日新聞 夕刊)</p>

表 2